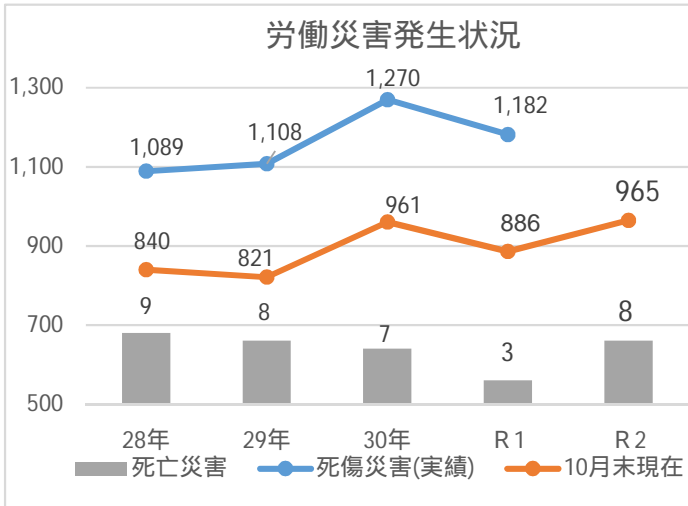


佐賀県内の労働災害発生状況 令和2年10月末

(令和2年11月9日集計)



労働災害の10月末現在の発生状況は、休業4日以上の死傷災害は965人(8.9%増)、死亡災害は8人と前年1年間よりもすでに5人を上回っています。

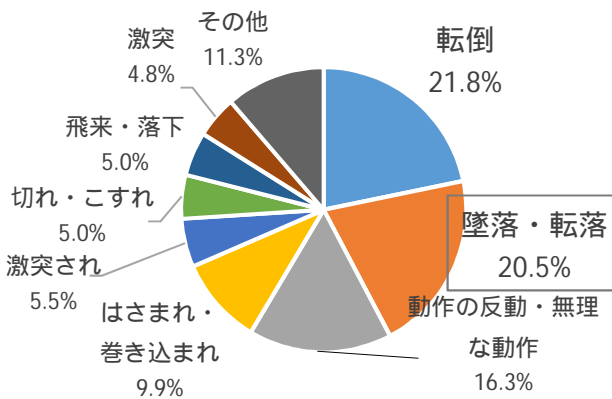
【死亡災害】

- 1月 建設業 鉄道車両にはねられ
- 3月 運輸交通業 トレーラーの牽引台車に挟まれ
- 3月 製造業 積込中、トラック荷台より3.1m下に墜落
- 3月 製造業 構造物梁と搬送台車間に挟まれ
- 4月 建設業 車両系建設機械を運転中に転落
- 4月 製造業 負傷部から細菌感染し敗血症を発症
- 7月 商業 荷の移動中、床より後方に0.6m転落
- 9月 建設業 足場で外装板取付中4.8m下に墜落

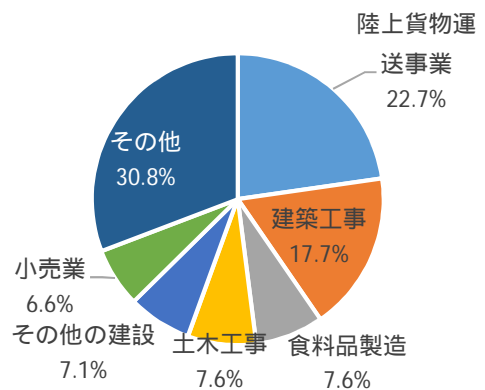
事故の型別で見ると転倒災害は210人(前年同期比6.7%減)が最も多く、次いで墜落・転落災害は198人(前年同期比26.9%増)、動作の反動・無理の動作(腰痛等)は157人(前年同期比34.2%増)の順となっている。「転倒・腰痛防止令和プロジェクトSAGA」も活用ください。

墜落災害を業種(中分類)で見ると、陸上貨物運送事業は42人、建築工事は27人でこの2業種で全体の41.3%を占めている。

事故の型別



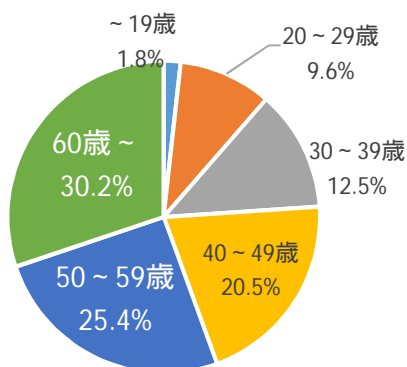
墜落災害の業種別(中分類)



年齢別では、60歳~(291人)、50歳代(245人)で50歳以上が全体の55.6%を占めている。

経験年数別では、1年以下が158人、1年超から5年以下が343人と5年以下が全体の51.9%を占めている。

被災者の年齢別



被災者の経験年数別

